



統合管理ソフト Vigilance VMS ユーザーマニュアル

作成：2022/10/03



統合管理ソフト（Vigilance VMS）ユーザーマニュアル

改定履歴

2020/07/02	初版作成
2020/08/19	第2版作成
2021/02/17	第3版作成
2022/10/03	第4版作成

目次

はじめに	4
保証の制限.....	4
注意事項	5
制限事項	5
1 セットアップ	7
1-1 ご利用の流れ	7
1-2 NVR アクセス許可設定	8
1-3 Vigilance VMS のインストール.....	10
1-4 Vigilance VMS のアンインストール	14
1-5 Vigilance VMS の起動と終了	16
2 メイン画面.....	17
2-1 ログイン.....	17
2-3 ライブ.....	19
2-3-1 カメラ映像表示.....	21
2-3-2 ビュー登録.....	23
2-3-3 ビューツアー	23
2-3-4 PTZ 操作	26
2-4 録画再生.....	28
2-5 映像のエクスポート	29
3 設定	32
3-1 NVR 登録.....	32
3-2 NVR 名称変更	36
3-3 起動時レイアウト自動表示	37
4 アラーム.....	38
4-1 アラームタブ	38

はじめに

本製品をご購入いただき、ありがとうございます。本ユーザーマニュアルでは、本製品の取り扱い、並びに使用方法を説明します。

- (1) 本書に記載されているすべての機能、仕様、特長その他は予告なしに変更されることがあります。
- (2) 記載されているすべてのブランド名および製品名は各社の登録商標です。
- (3) 説明書内の画面イメージが実際と違う部分があります。基本機能は変わりませんのでご了承ください。

保証の制限

- (1) いかなる場合も、株式会社システム・ケイ(以下弊社)は直接、間接を問わず製品に対して支払われた価格を超えて責任を負うことはありません。
- (2) 弊社は本製品及および付随するすべてのソフトウェア及びドキュメントの内容や使用に関して明示的または黙示的または法的に保証するものではなく、またその品質、性能、使用目的への適合性を保証するものではありません。
- (3) 弊社は本製品の顧客へ事前の予告なしに製品、ソフトウェア、またはマニュアルを改訂または更新する権利を留保します。
- (4) 本マニュアルの記載を守らないことにより生じた損害に関しては、弊社は一切責任を負いません。また予告なく製品やマニュアルの記載内容に対して変更・修正を行うことがあり、将来にわたるいかなる約束を表明するものではありません。
- (5) 弊社は製品およびソフトウェアの使用の結果に生じた、偶発的な損害および間接的な損害、またこれらに付随する事業上の利益の損失、データの喪失、その他使用に起因して生じていかなる損害に対しても責任を負いません。
- (6) 弊社はこのマニュアルに含まれる記述、製品の商業価値および製品の特定用途に対する適合性について、明示的または黙示的な保証を一切致しません。

注意事項

- (1) 本管理画面上で SVR と表記されている場合がありますが、NVR、ICS Pro を意味しません。
- (2) 本マニュアル記載の画面は、Vigilance VMS のバージョンにより実際の画面と一部異なる場合があります。
- (3) 本ソフトウェアとユーザーマニュアルの最新版は下記サポートページよりダウンロードをお願い致します。

<https://nvr.bz/support/catalogdl/software.php>

制限事項

- (1) ディスプレイ推奨解像度は 1920×1080 以上です。
- (2) インストールに必要な PC 仕様は以下となります。

Vigilance VMS サーバーとクライアントの両方を同じ PC にインストールする場合は、システム要件を評価するときに、組み合わせた負荷を考慮することに注意して下さい。

【サーバー】

OS	Windows 7、10 Windows Server 2012、2016、2019 (※1)
CPU	第 6 世代 Intel Core i3 プロセッサ以上
メモリ(※2)	4GB 以上
録画スループット	最大 200Mbps
ネットワーク インターフェースカード	1Gbps 以上推奨
NVR 収容数	無制限 (※3)
クライアント接続数	無制限 (※3)

※1 Server Core インストールタイプはサポートされていません。

※2 デュアルチャネルメモリ構成を使用してください。

※3 ソフトウェア上の制限はありませんが、利用環境に応じたサーバー、クライアント仕様をご準備下さい。

【クライアント】

OS		Windows 7、10 Windows Server 2012、2016、2019 (※1)		
表示 チャンネル数	H.264、720P、各 チャンネル 2Mbps	8-CH	16-CH	32-CH
	H.264、1080P、 各チャンネル 4Mbps	6-CH	10-CH	18-CH
	H.265、1080P、 各チャンネルで 4Mbps	3-CH	5-CH	9-CH
CPU		第6世代 Intel Core i3 プロセ ッサ	第6世代 Intel Core i5 プロセ ッサ	第6世代 Intel Core i7 プロセッ サ
メモリ(※2)		8GB 以上	8GB 以上	16GB 以上
グラフィックスカード		1GB ビデオ RAM で Direct3D アクセラレーション をサポートしていること		
ネットワークインターフェース カード		1Gbps 以上推奨		

※1 Server Core インストールタイプはサポートされていません。

Windows Server OS を使用する場合は、独立したグラフィックカードが必要です。

※2 デュアルチャンネルメモリ構成を使用してください。

(3) Vigilance NVR がサポートする NVR 機種は以下となります。

NVR-mini、NVR-0802PR、NVR-1602PR

NVR-0802PR Mk II、NVR-1602PR Mk II

1 セットアップ

1-1 ご利用の流れ



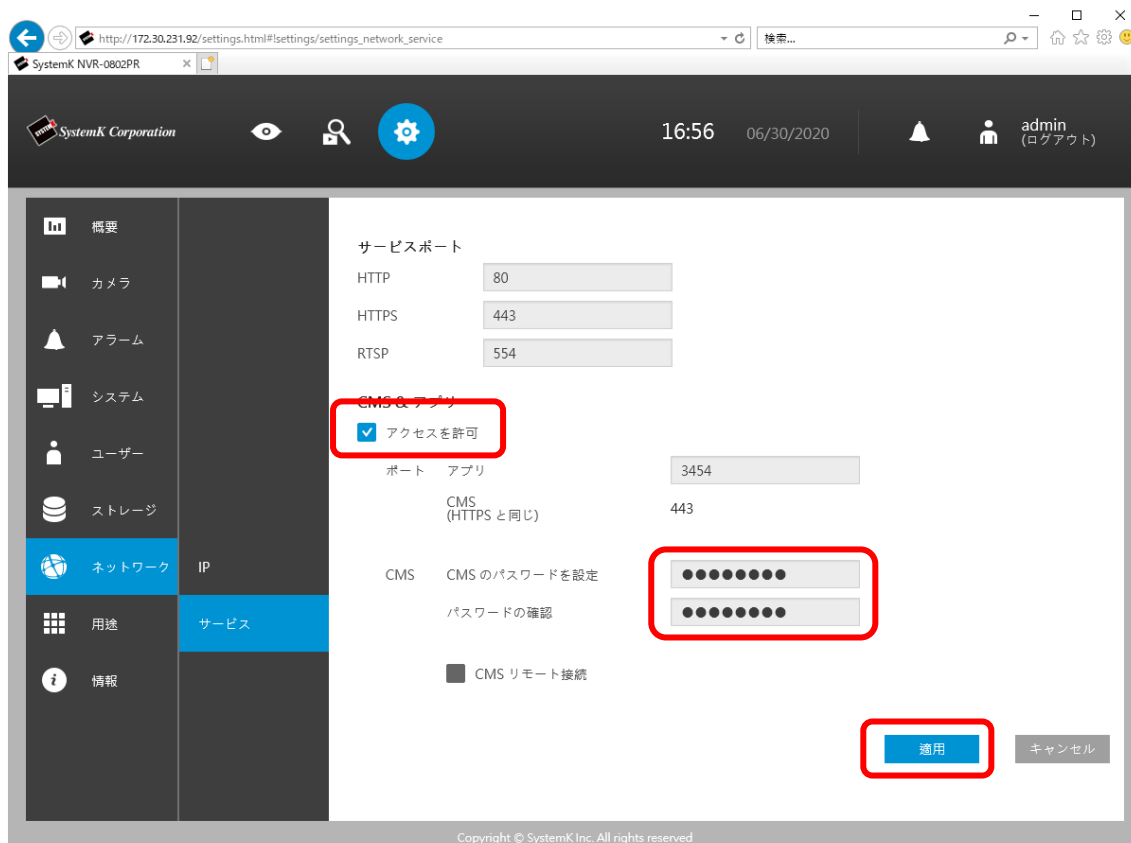
1-2 NVR アクセス許可設定

操作する NVR の型番によって画面レイアウトが異なりますので、それぞれの NVR での設定方法をご案内いたします。

■NVR-mini、NVR-0802PR、NVR-1602PR の場合

NVR の以下のページを表示します。

[設定] - [ネットワーク] - [サービス]



以下を入力して「適用」ボタンをクリックします。

アクセスを許可：チェックを入れる

CMS のパスワードを設定：任意のパスワードを入力します

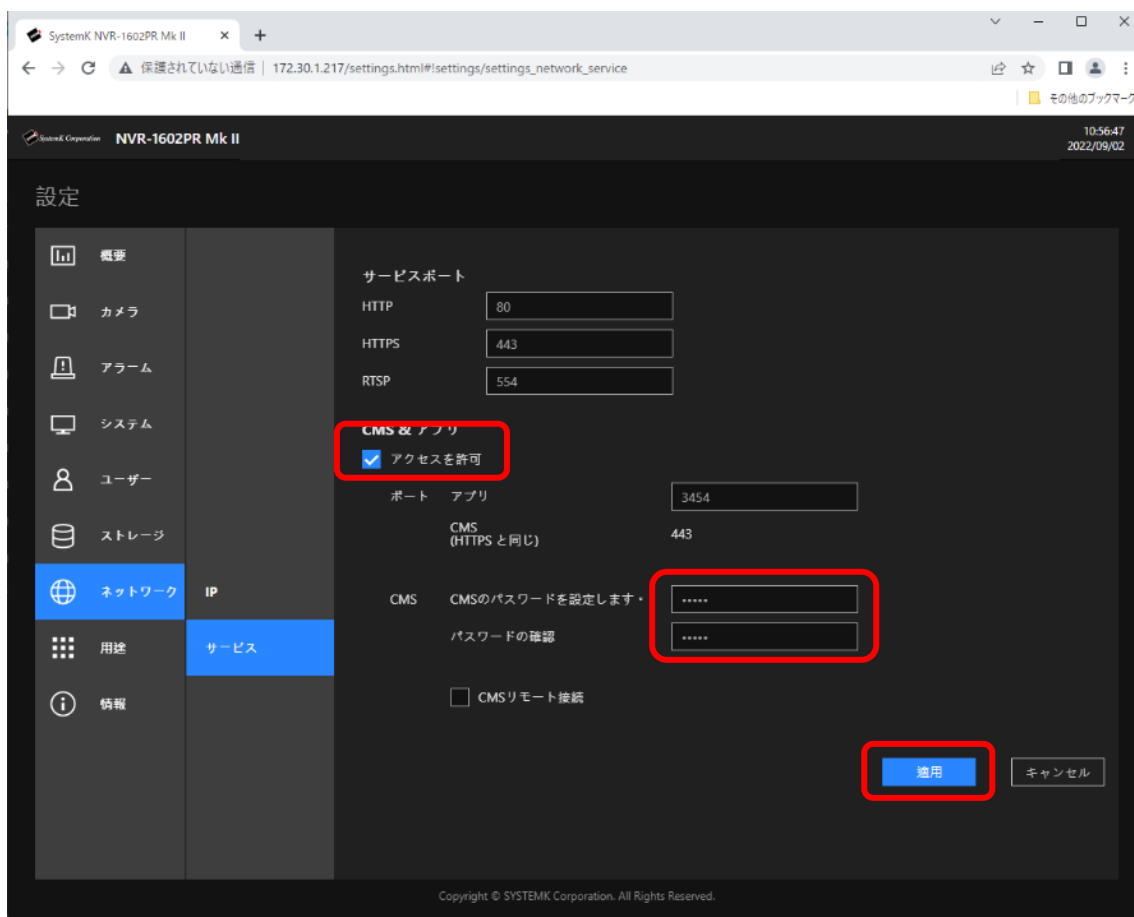
※ここで設定するパスワードは、Vigilance VMS が NVR を登録する際に利用する専用パスワードです。(NVR 本体にログインするパスワードとは別に設定が必要です)

※Vigilance VMS に登録する全ての NVR に対して実施します。

■NVR-0802PR Mk II、NVR-1602PR Mk II の場合

NVR の以下のページを表示します。

[設定] - [ネットワーク] - [サービス]



以下を入力して「適用」ボタンをクリックします。

アクセスを許可：チェックを入れる

CMS のパスワードを設定：任意のパスワードを入力します

※ここで設定するパスワードは、Vigilance VMS が NVR を登録する際に利用する専用パスワードです。(NVR 本体にログインするパスワードとは別に設定が必要です)

※Vigilance VMS に登録する全ての NVR に対して実施します。

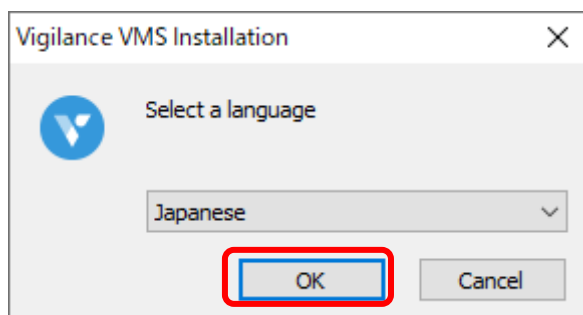
1-3 Vigilance VMS のインストール

以下のサイトから Vigilance VMS インストーラーをダウンロードします。

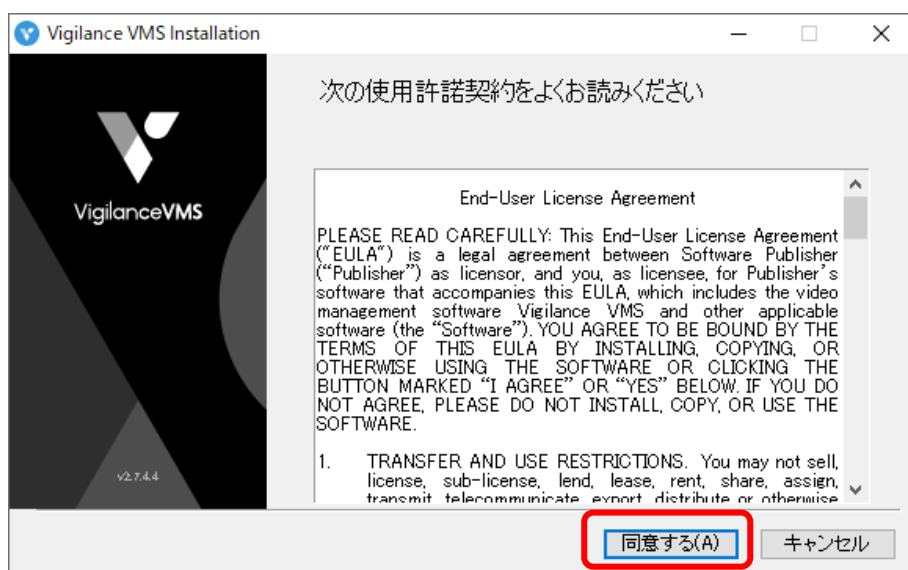
<https://nvr.bz/support/catalogdl/software.php>

ダウンロードしたインストーラーを起動します。

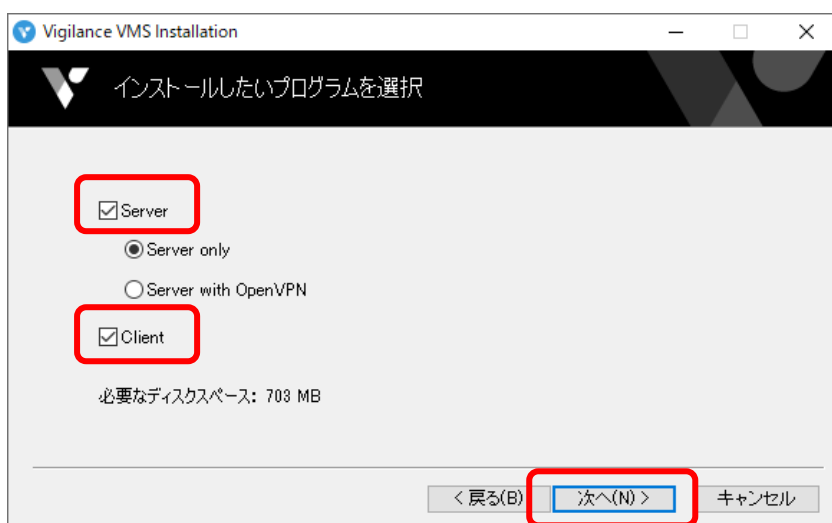
※インストールは管理者権限のユーザーで実施して下さい。



「OK」ボタンをクリックします。

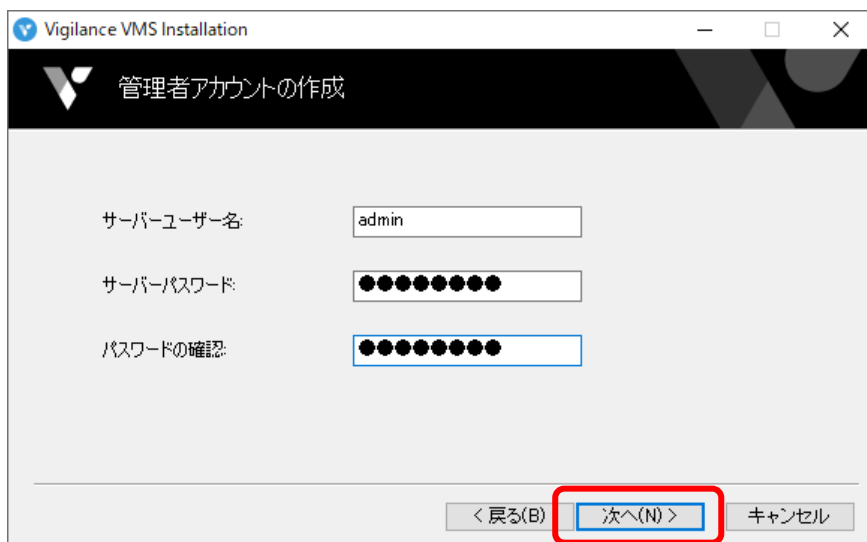


「同意する」ボタンをクリックします。



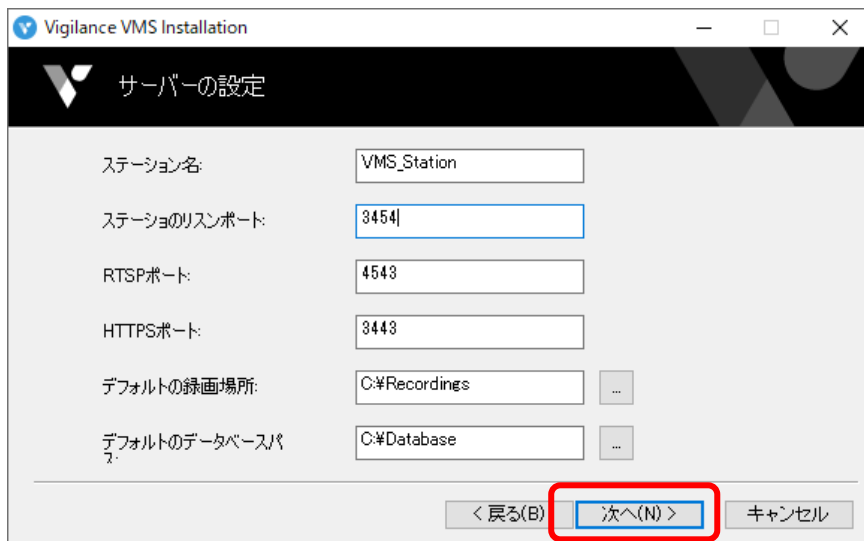
「Server」（Server only）と「Client」にチェックをつけて「次へ」ボタンをクリックします。

※クライアントソフトウェアのみインストールする場合は、「Client」のみにチェックをつけます



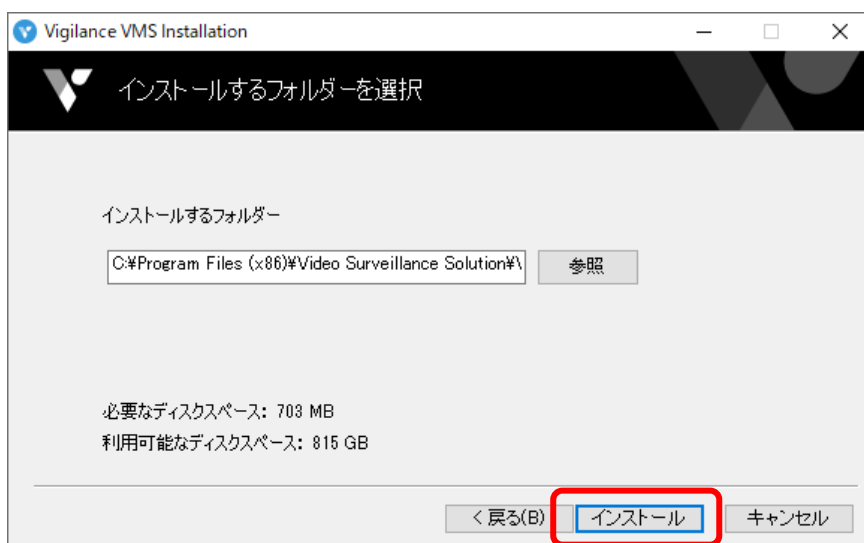
サーバーパスワードを入力して「次へ」ボタンをクリックします。

※Vigilance VMS クライアントからサーバーに接続するためのパスワードです。



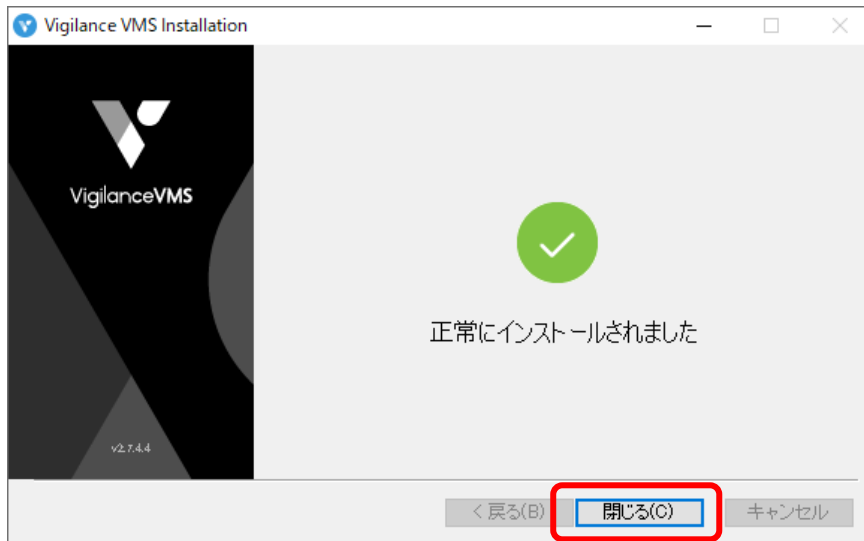
「次へ」ボタンをクリックします。

※この内容はインストール後でも変更可能です。



「インストール」ボタンをクリックします。

※インストールフォルダーを変更する場合は「参照」ボタンをクリックしてフォルダーを指定します。



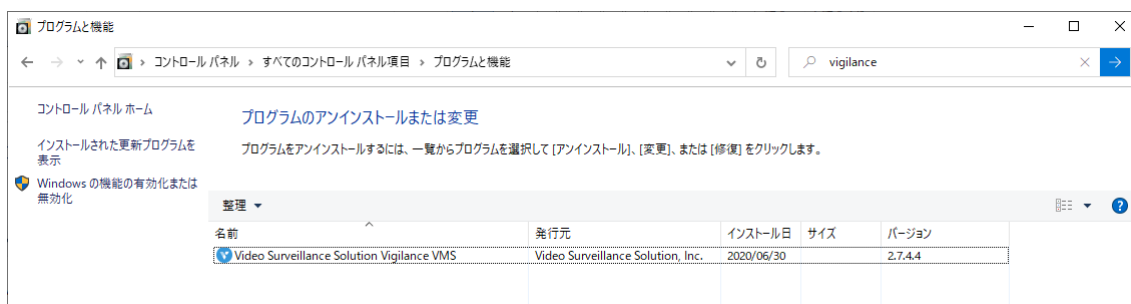
「閉じる」ボタンをクリックします。

1-4 Vigilance VMS のアンインストール

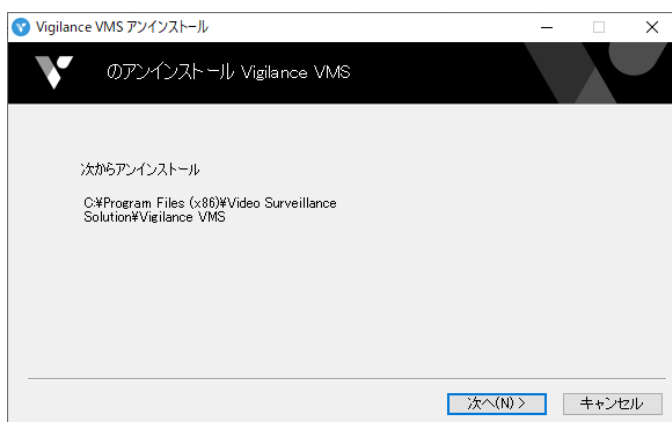
以下の手順で Vigilance VMS をアンインストールします。

Vigilance VMS を終了させます。

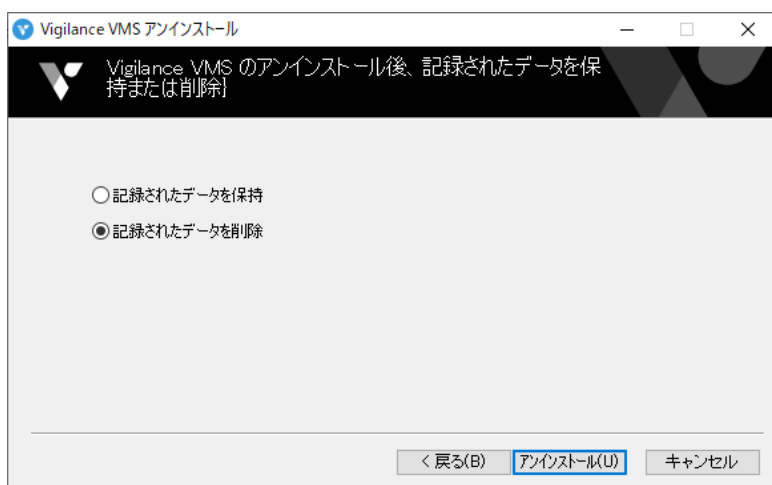
コントロールパネルから「プログラムと機能」をクリックし、「Video Surveillance Solution Vigilance VMS」を選択して「アンインストール」をクリックします。



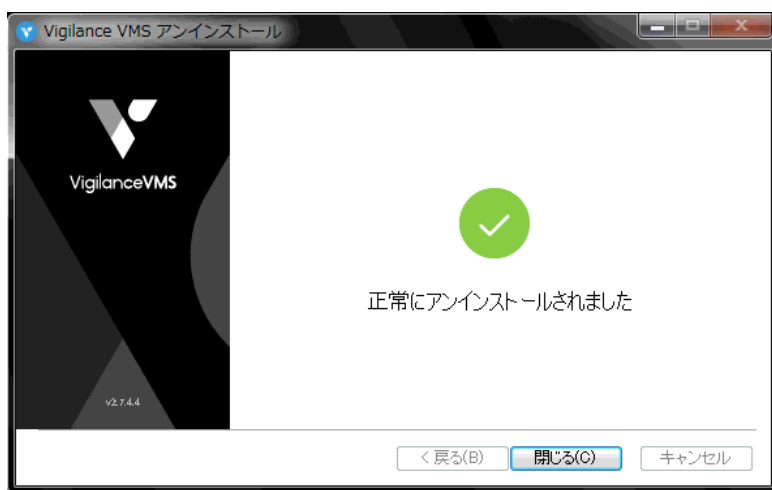
「次へ」をクリックします。



全てのデータを削除する場合は「記録されたデータを削除」を選択して「アンインストール」をクリックします。



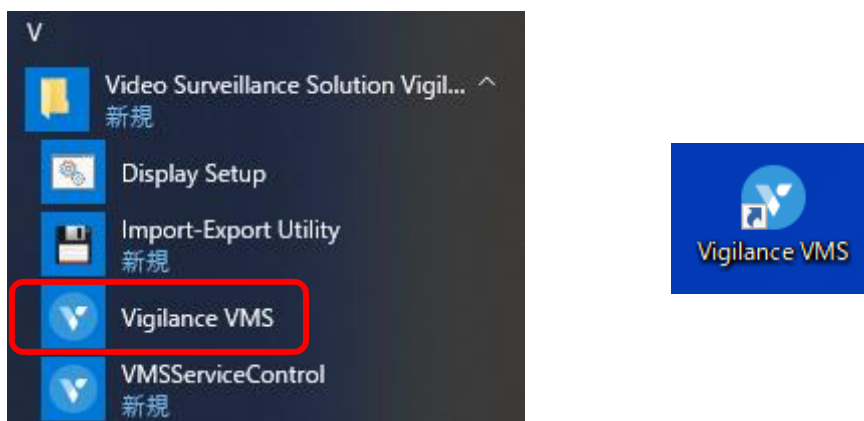
以下の画面が表示されたら「閉じる」をクリックします。



1-5 Vigilance VMS の起動と終了

スタートメニューもしくはデスクトップに作られたショートカットアイコンをダブルクリックして起動します。

スタート > Video Surveillance Solution Vigilance VMS > Vigilance VMS



Vigilance VMS を終了する場合は、右上の×ボタンをクリックします。

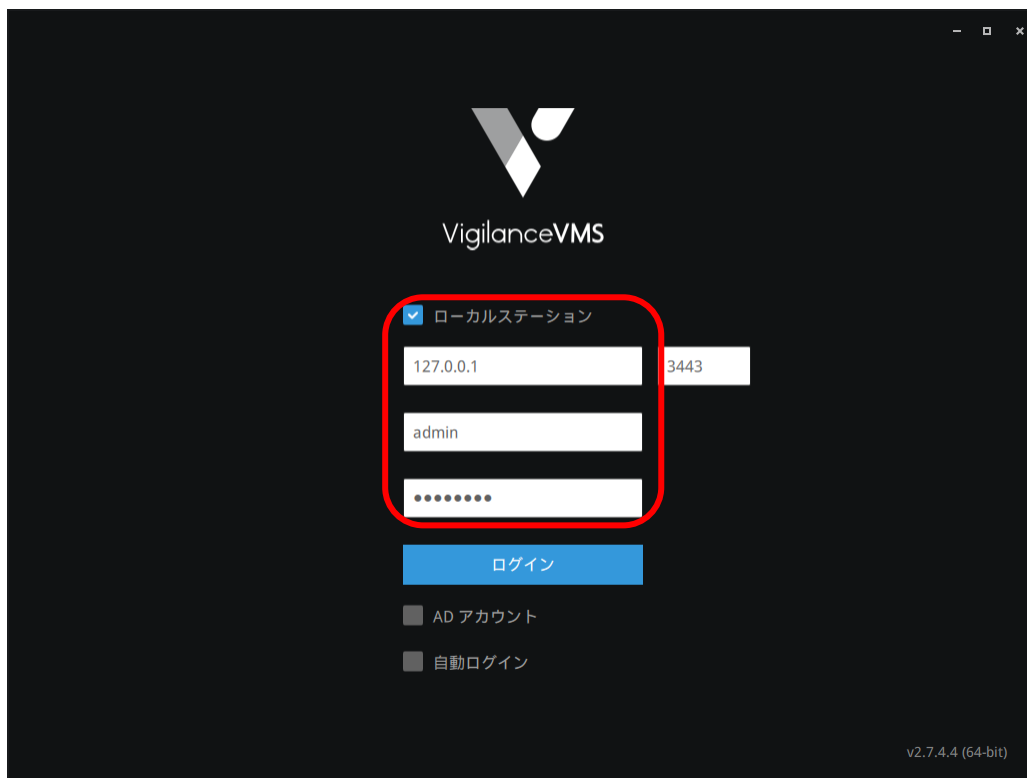


最後に「閉じる」ボタンをクリックして終了します。



2 メイン画面

2-1 ログイン



(1) サーバーIP アドレスとユーザー名、パスワードを入力し、ログインボタンをクリックします。

※サーバーとクライアントが同じ PC にインストールされている場合は、「ローカルステーション」にチェックを入れます。

※デフォルトのユーザー名は「admin」です

※パスワードにはインストール時に入力したサーバーパスワードを入力します。

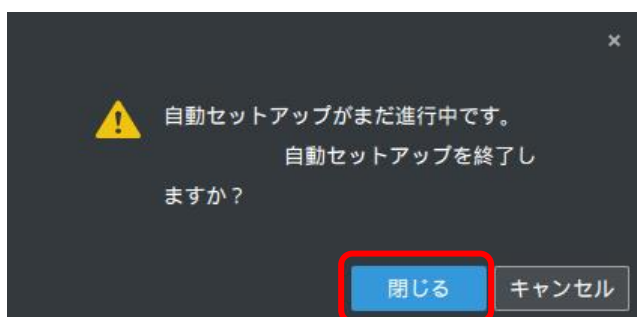
2-2 初期設定

Vigilance VMS の初期設定を行います。

デバイス追加画面



「キャンセル」ボタンをクリックします。

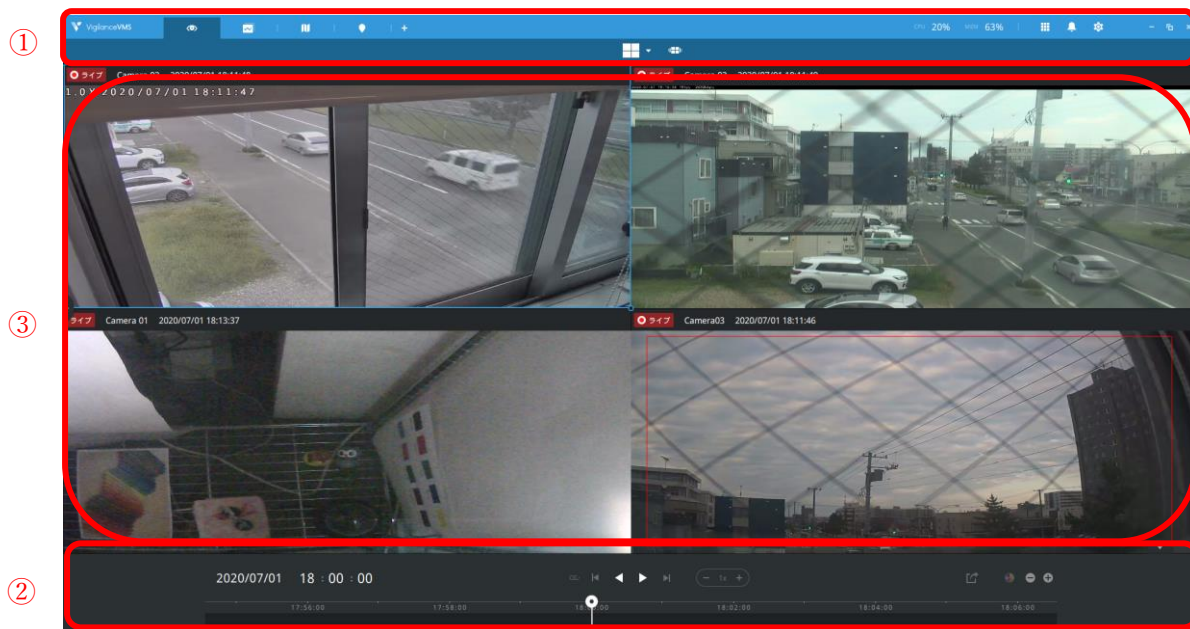


「閉じる」ボタンをクリックします。

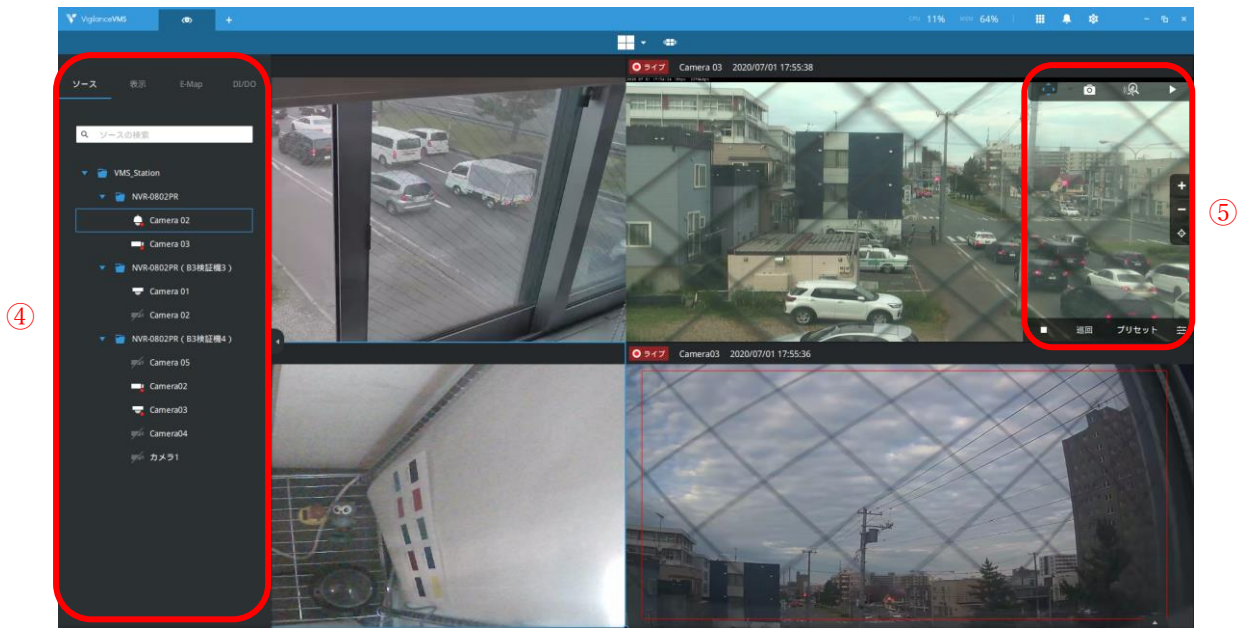
メイン画面が表示されますので、設定画面から NVR を登録します。
登録の手順は [3-1](#) を参照して下さい。

2-3 ライブ

ライブ画面の画面構成は以下となります。



エリア名称	説明
① ヘッダーエリア	各画面切换えやダッシュボード、E-Map、イベント検索、アラーム操作、設定メニューの操作はこちらから行います。また、ライブ画面を表示させた状態では分割表示の選択や、ビューのツアー表示も行います。
② 映像表示エリア	カメラのライブ映像や録画映像を表示するエリアです。
③ 録画映像制御メニュー	録画映像の検索、再生制御を行います。 ▼▲ボタンで表示/非表示を切り替え可能です。



エリア名称	説明
④ サイドメニュー	表示可能なカメラのリストやビューの登録、E-Map、DI/DO 操作を行います。 ◀▶ ボタンで表示/非表示を切り替え可能です。
⑤ カメラ操作メニュー	PTZ 操作やスナップショット、録画再生画面切換えなどの操作を行います。

※スナップショットについて

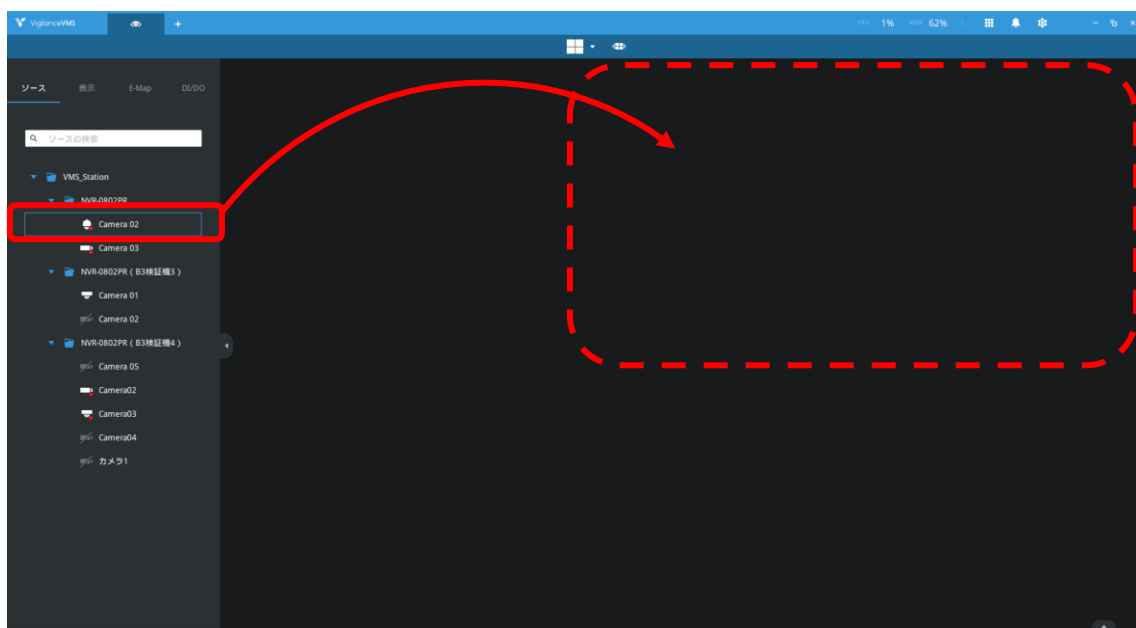
- ・スナップショットは以下の場所に保存されます。

C:/Users/Public/Documents/Video Surveillance Solution Inc/Vigilance VMS/Downloads

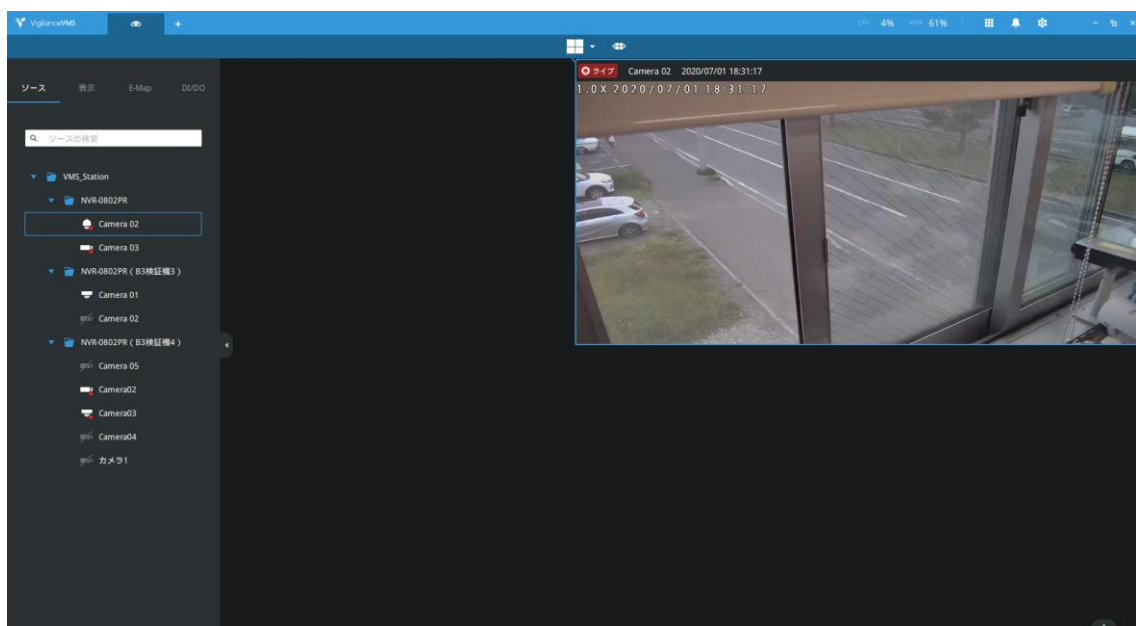
- ・スナップショットの保存先を変更する場合は、

設定>システム>環境設定>クライアント>エクスポートの順に進み、「場所」欄で任意の保存先を指定します。

2-3-1 カメラ映像表示

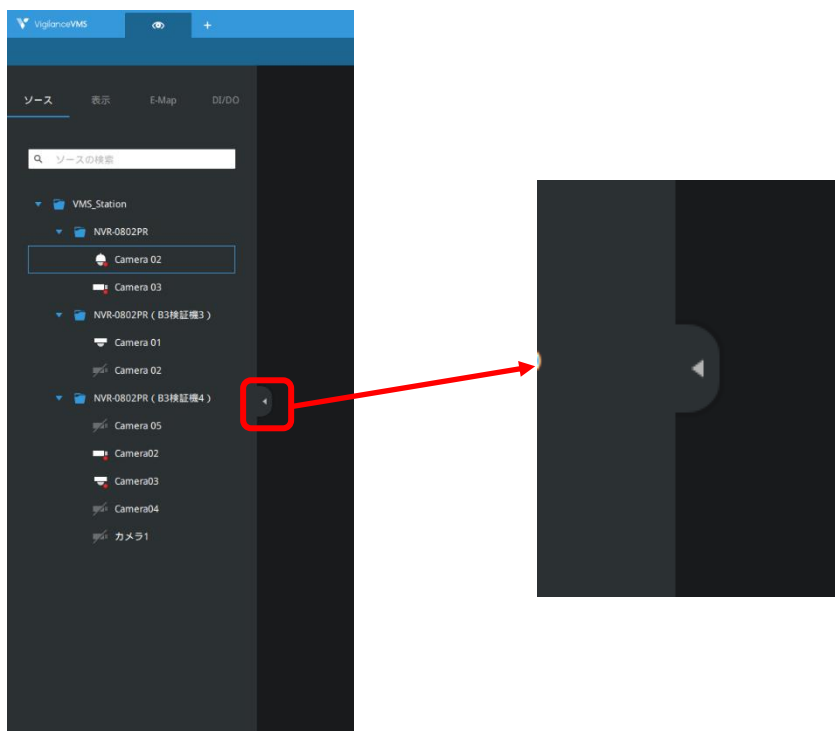


対象カメラを表示したいエリアにドラッグアンドドロップします。

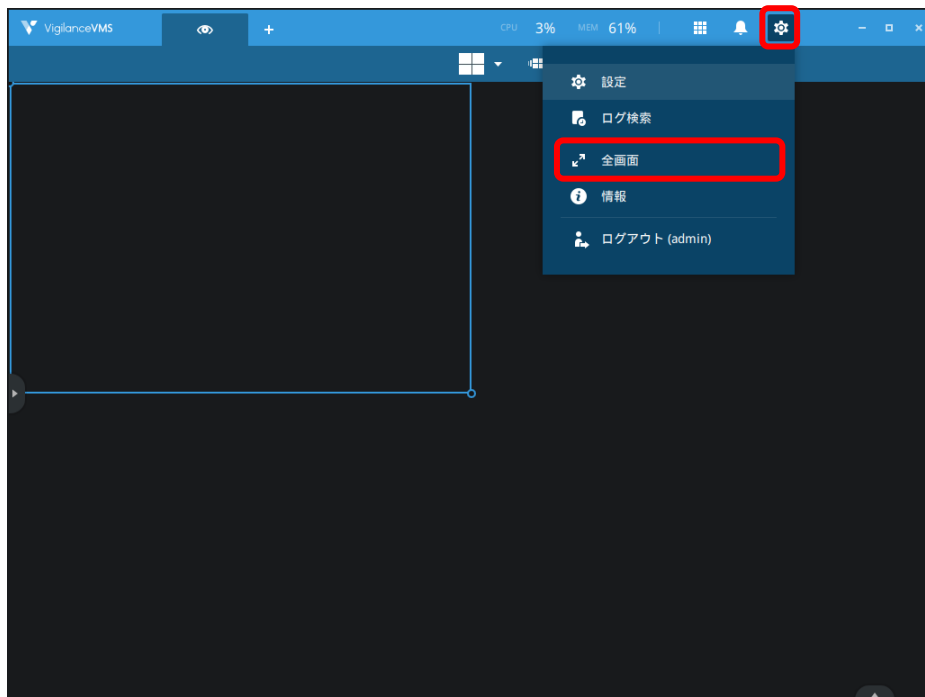


カメラ映像が表示されます。

※サイドメニューはボタン操作で表示/非表示を制御できます。

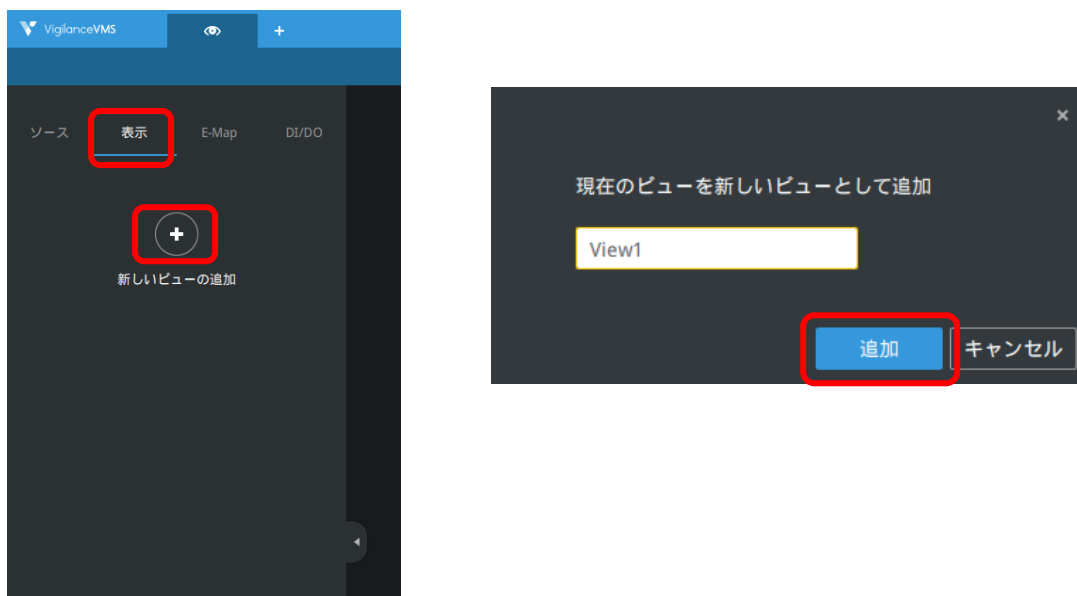


設定ボタンから「全画面」をクリックすることで、ビューを全画面表示することができます。
※全画面表示を終了するには、キーボードの「Esc」キーを入力します。

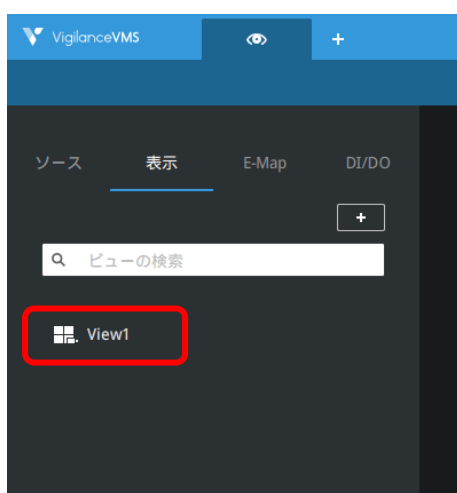


2-3-2 ビュー登録

設定したライブ映像をビューとして登録しておくことができます。



サイドメニューから「表示」→「+」をクリック、ビューの名称を入力し「追加」ボタンをクリックします。



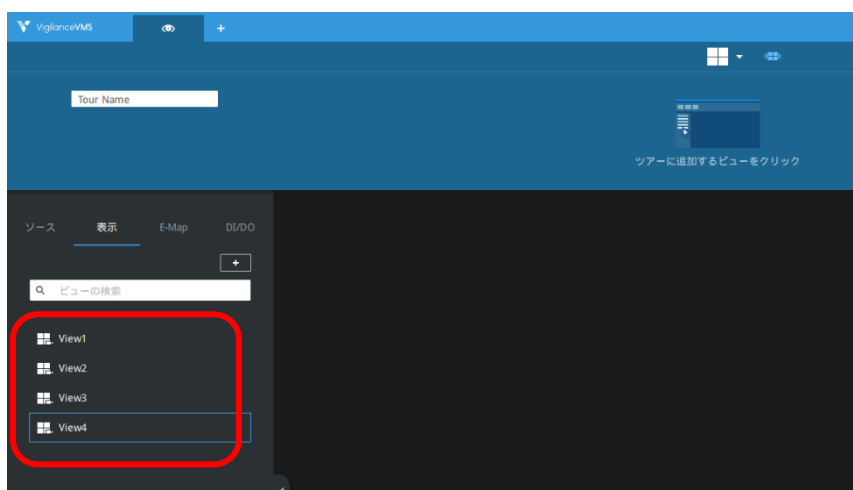
登録したビューが表示されます。

2-3-3 ビューツアー

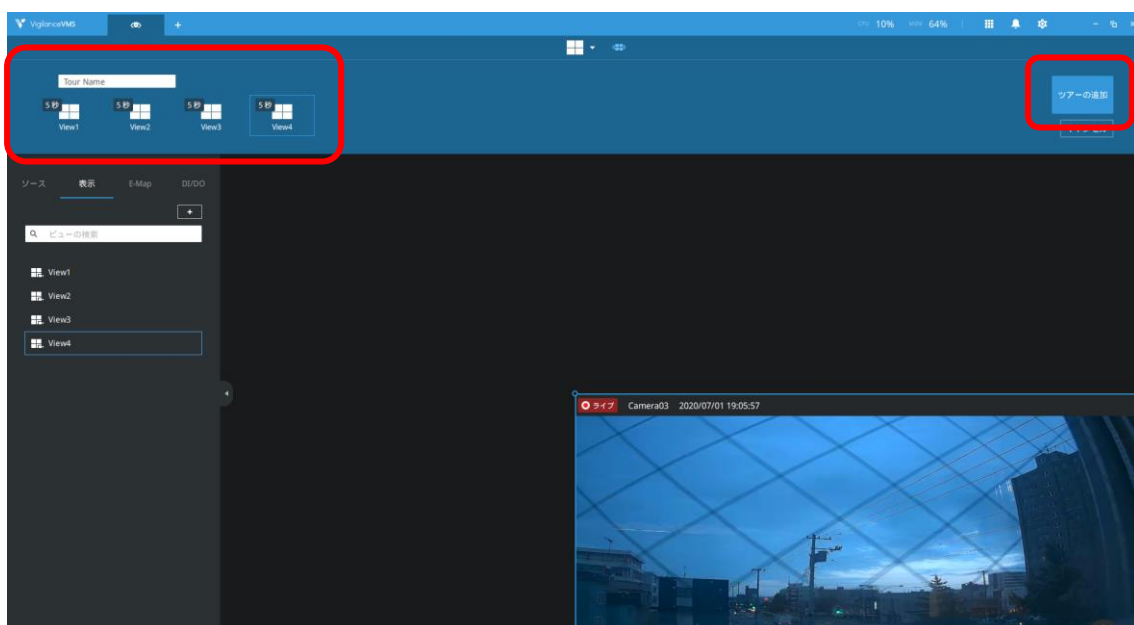
登録した複数のビューを自動的に切り替えて表示することが可能です。



ヘッダーエリアから「カメラツアーの追加」→「+」をクリックします。

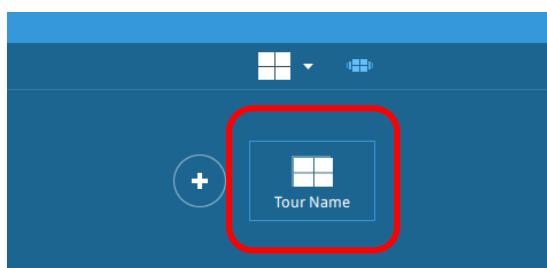
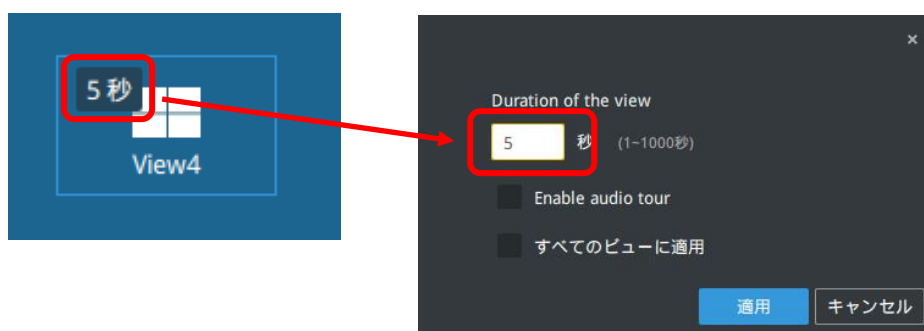


ツアーに追加するビューを全てクリックします。

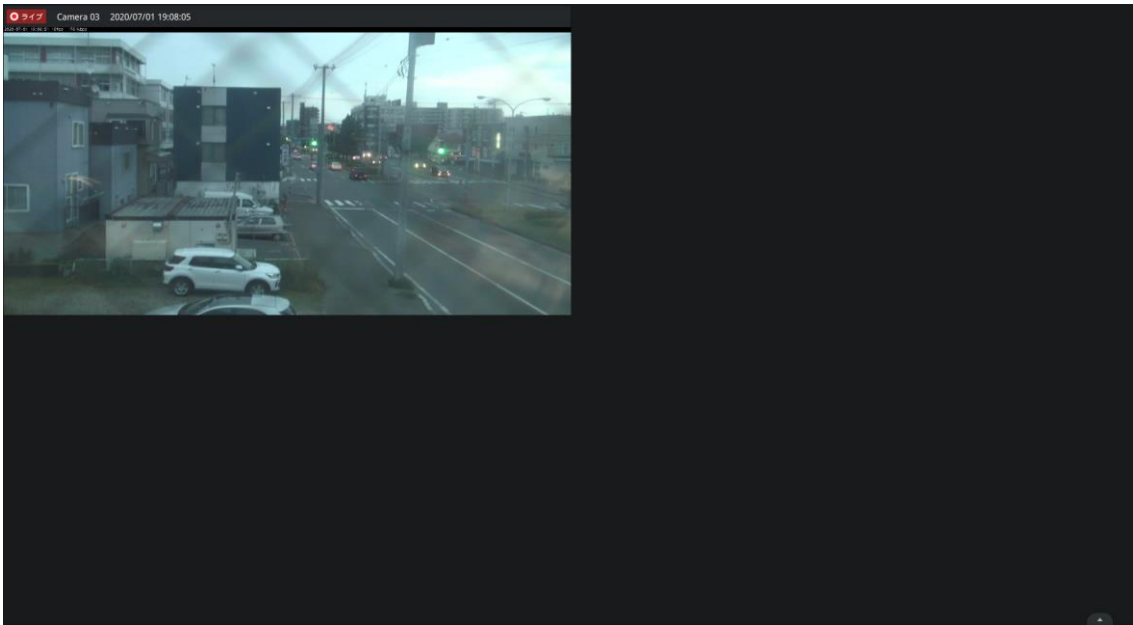


ツアー名を入力して「ツアーの追加」をクリックします。

※切換え秒数を変更する場合は、秒数部分をクリックして変更します。

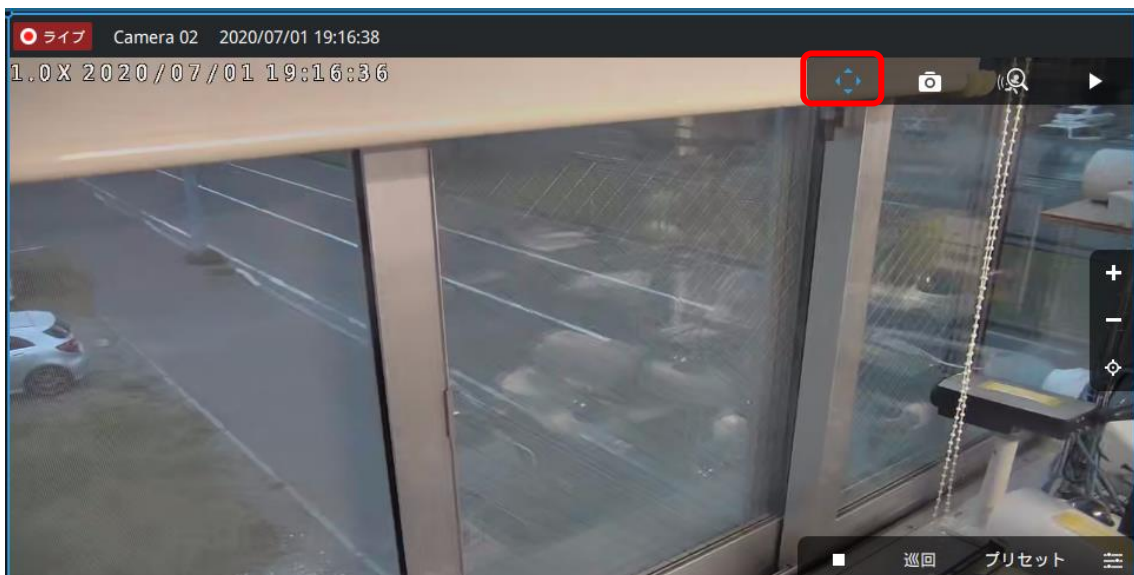


作成されたツアーボタンをクリックします。



ビューツアーが開始します。
終了する場合は画面をクリックします。

2-3-4 PTZ 操作

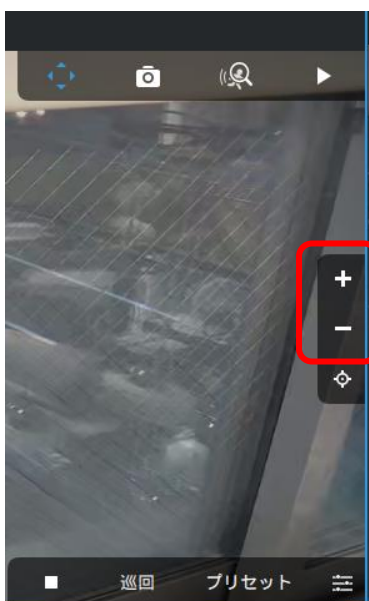


PTZ カメラの映像の上にマウスを移動し、PTZ アイコンをクリックして有効化します。

※PTZ 操作が有効になっている場合は PTZ アイコンが青色で表示されます。



カメラ映像の上でマウスクリックしたままドラッグするとカメラが移動します。



ズームインは「+」ボタン、ズームアウトは「-」ボタンを操作します。

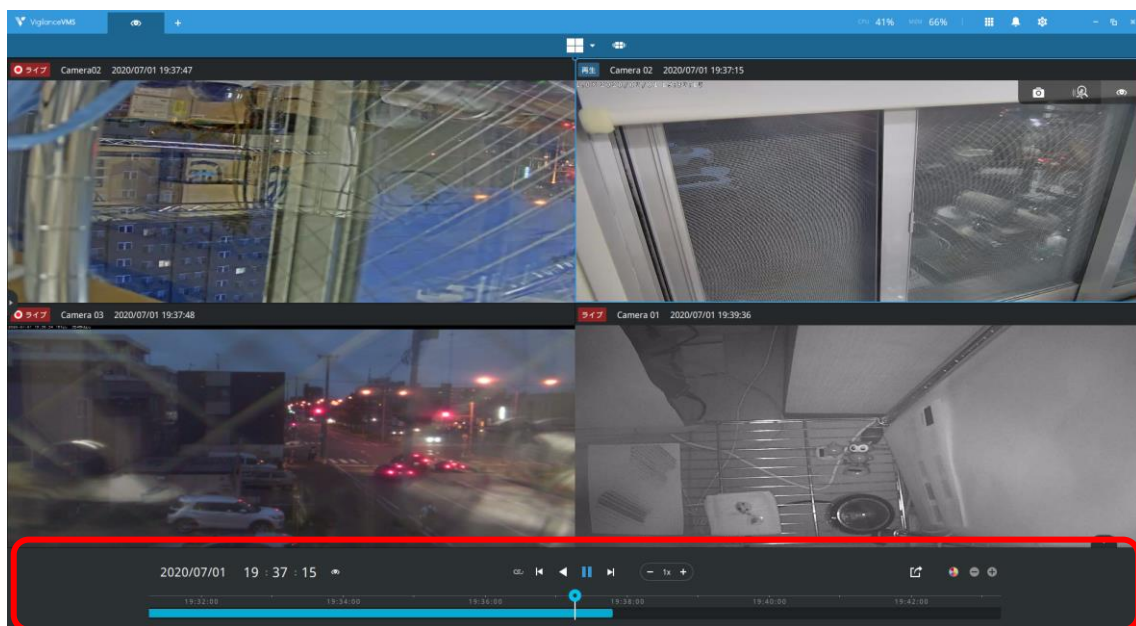
※PTZ 操作を解除するには、再度 PTZ アイコンをクリックします。

2-4 録画再生

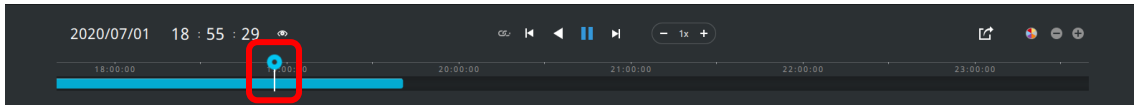
録画再生は以下の手順で実施します。



「再生」ボタンをクリックします。

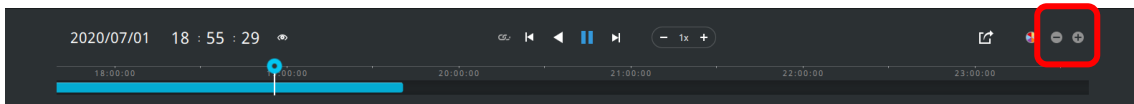


録画映像制御メニューが表示されます。



タイムライン上の再生したい日時ポイントにピンを移動させます。

※タイムライン上では録画されている日時が青色で表示されます。



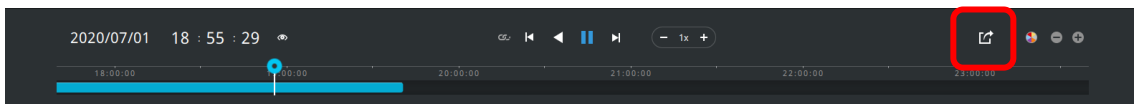
タイムラインの表示間隔は「+」「-」ボタンで調整が可能です。

※表示間隔は以下の順に切り替わります

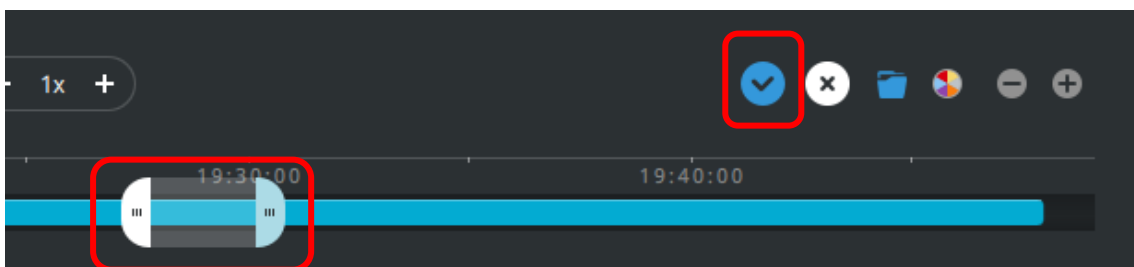
3日、1日、12時間、6時間、3時間、1時間、12分、1分

2-5 映像のエキスポート

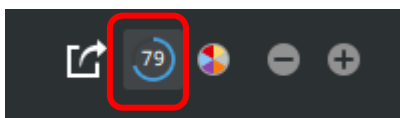
録画映像を PC 上にダウンロードします。



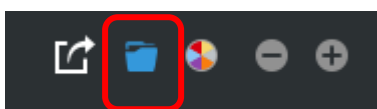
「エキスポート」ボタンをクリックします。



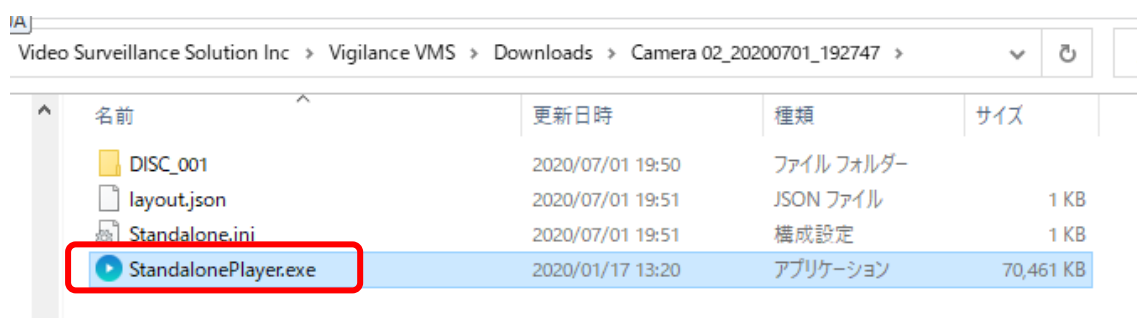
範囲選択バーが表示されるので、エキスポートする期間を設定し、「開始」ボタンをクリックします。



エクスポート状況が表示されます。



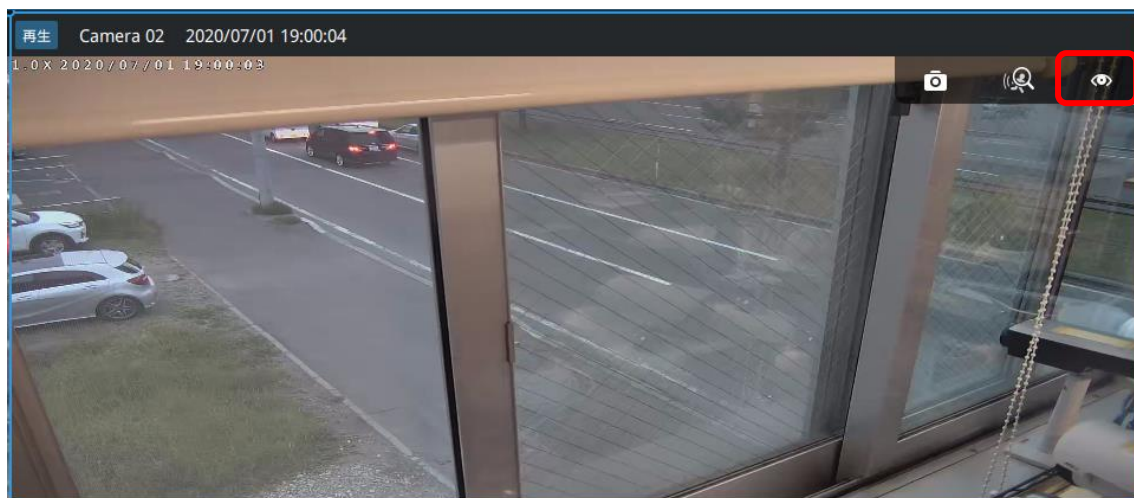
エクスポートが完了したら、「フォルダー」ボタンをクリックします。



フォルダー内の「StandalonePlayer.exe」をダブルクリックします。



エクスポートされた映像が再生されます。

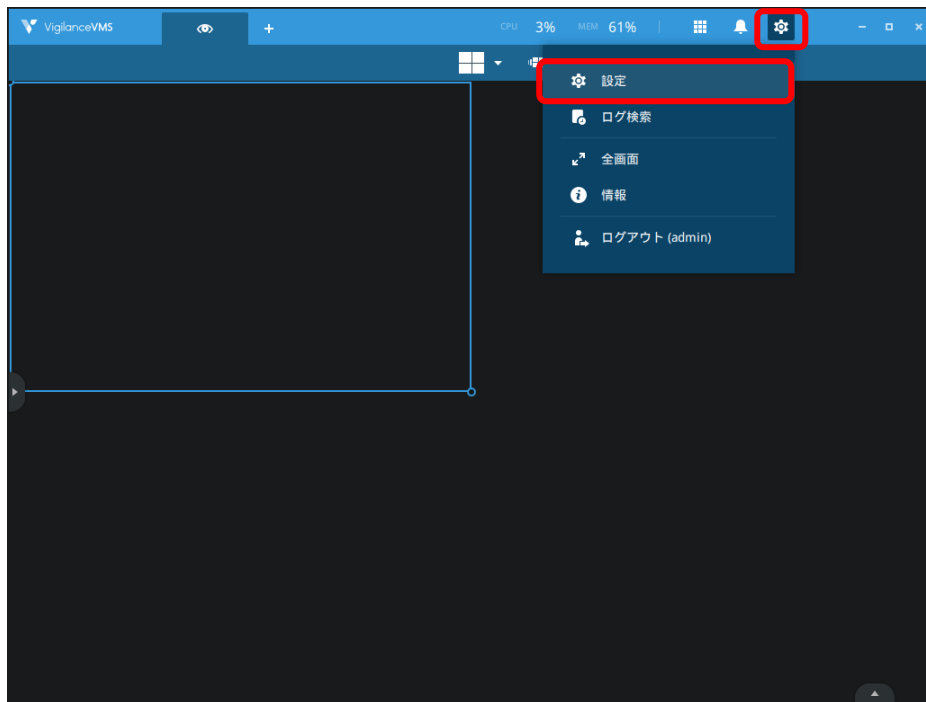



録画再生モードからライブモードに切り替えるには「ライブ」アイコンをクリックします。

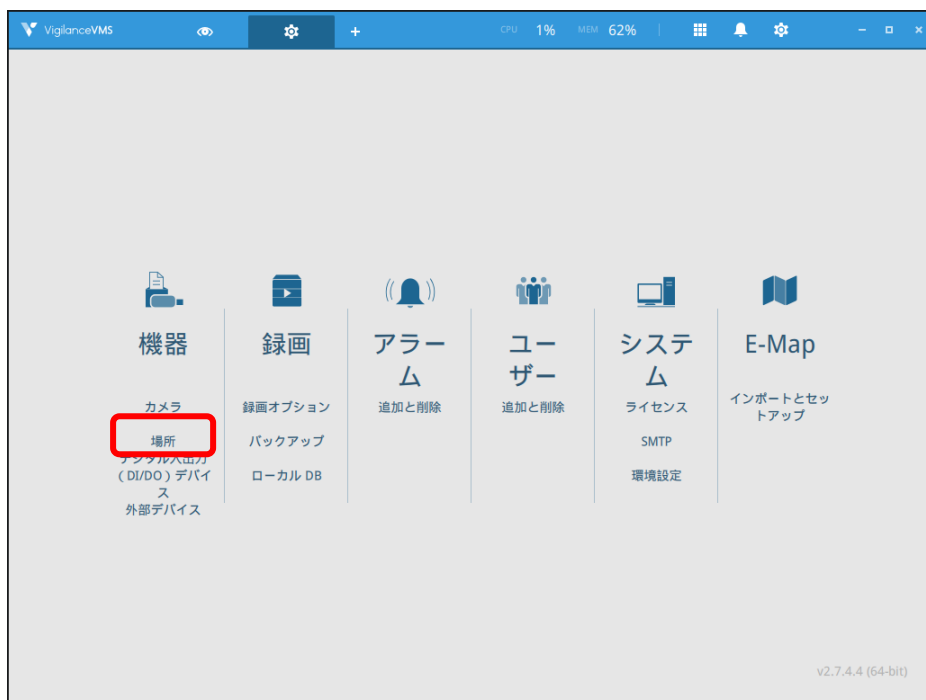
3 設定

3-1 NVR 登録

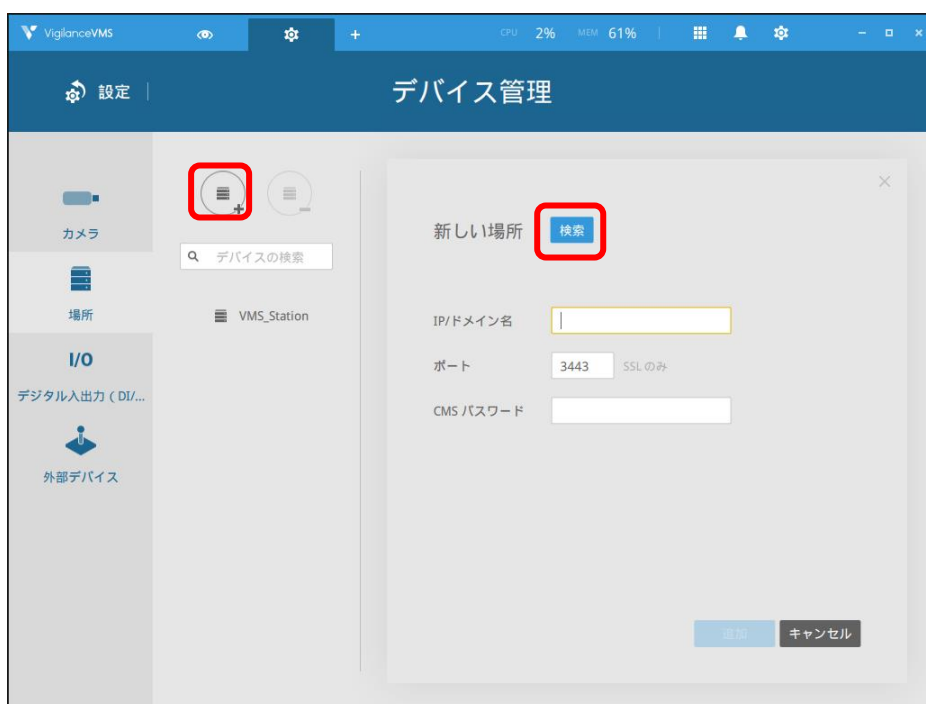
ここでは NVR の登録手順を記載します。



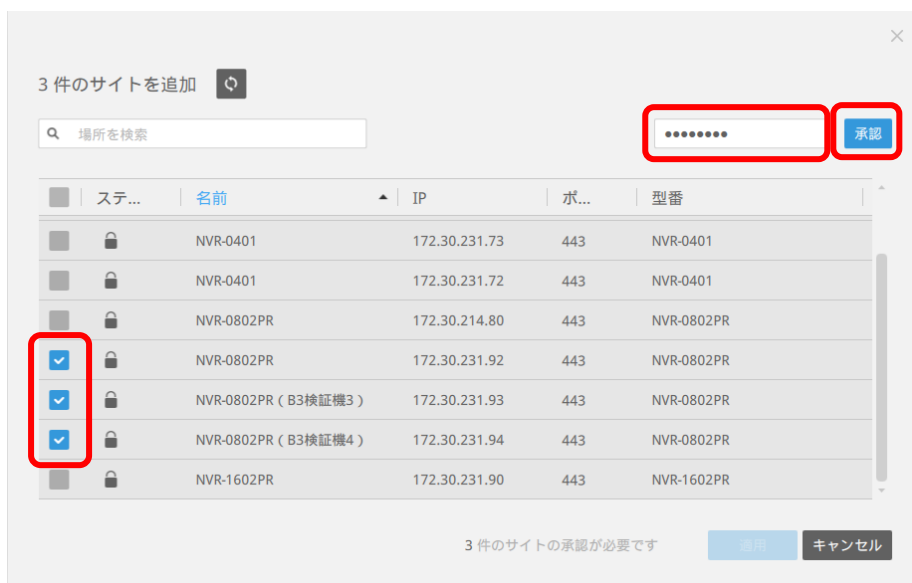
 アイコンから「設定」をクリックします。



「機器」グループの「場所」をクリックします。



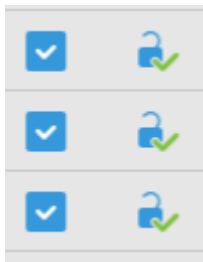
「+」アイコンをクリックし、「検索」ボタンをクリックします。



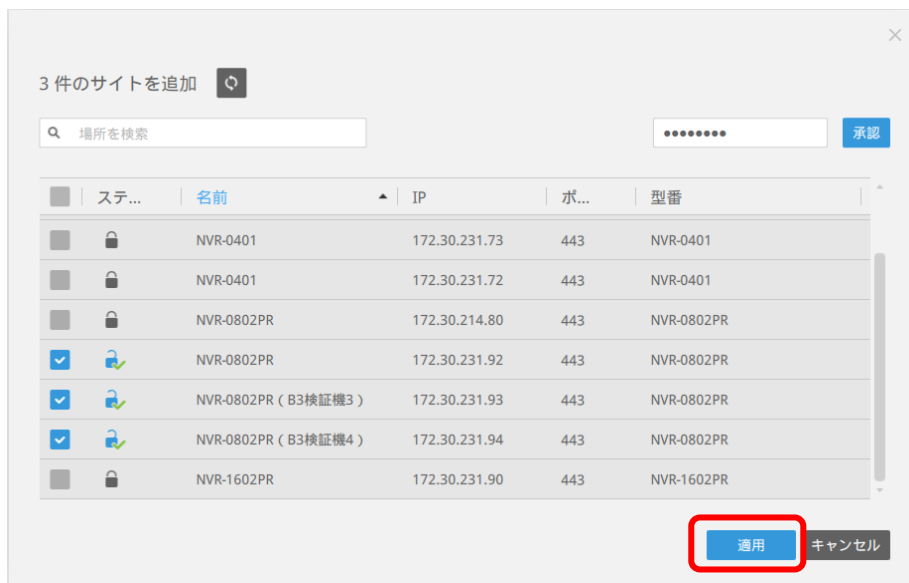
登録する NVR にチェックをつけ、パスワードを入力して「承認」ボタンをクリックします。

※ここで入力するパスワードは、1-2 で設定したパスワードです。

検索機能で表示されない NVR を追加する場合は、別途配布している簡易マニュアルの登録手順をご覧ください。



認証が成功すると上記のようにアイコンが変わります。



「適用」ボタンをクリックします。

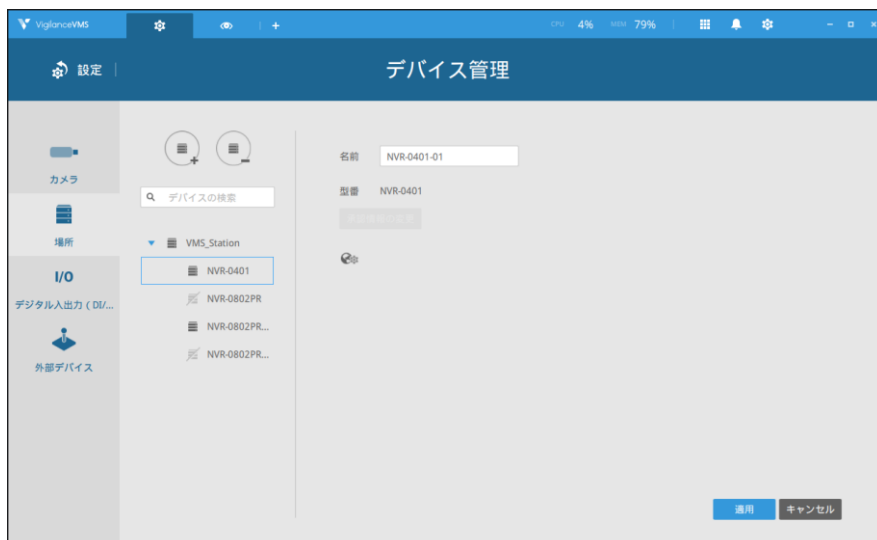


Vigilance VMS に NVR が登録されました。

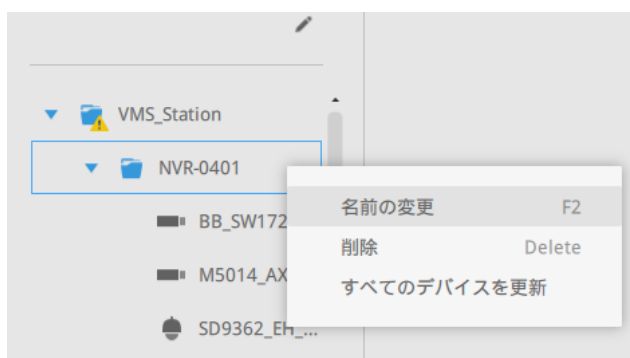
3-2 NVR 名称変更

NVR の名称を変更するには 2 か所の設定が必要です。

設定①：[設定]-[機器]-[場所]の画面から対象の NVR を選択して名称変更



設定②：[設定]-[機器]-[カメラ]の画面から対象の NVR 上で右クリックし、「名前の変更」から名称を変更



※設定②で NVR 名称を変更後、上記画面で一旦 NVR を削除し、「3-1 NVR 登録」の手順で再登録することにより、変更後の名称がライブ画面にも反映されます。

※設定①で変更した NVR 名称は NVR 本体にも反映されます。

※NVR 本体側で変更された NVR 名称は設定①の画面にも反映されます。

<カメラ名称について>

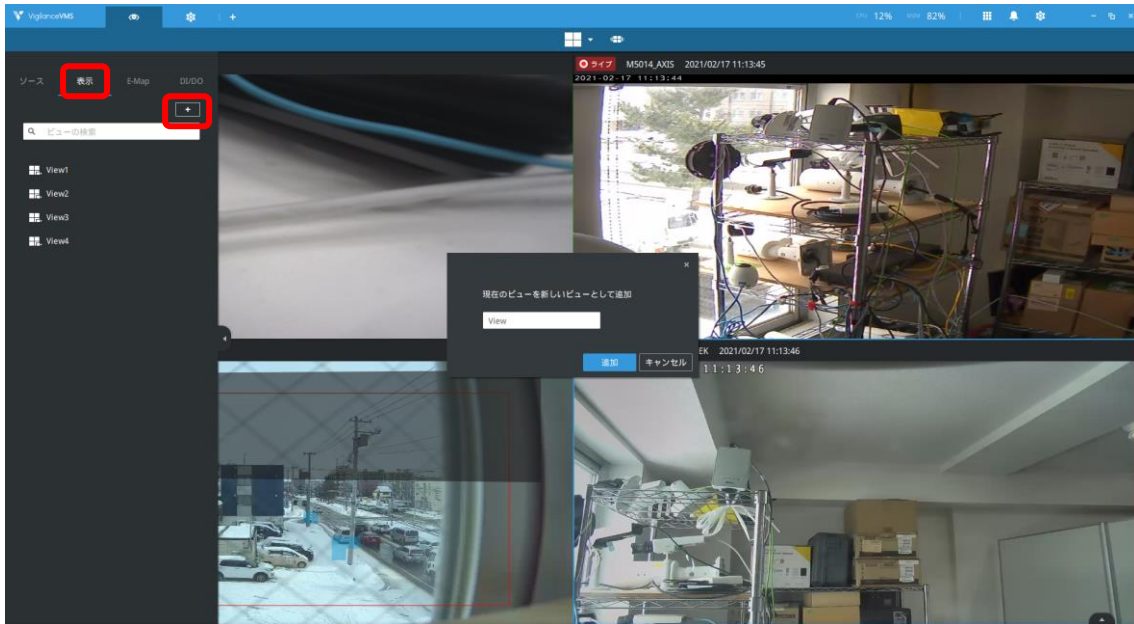
※Vigilance VMS 側から NVR 内のカメラ名称を変更する事はできません。

※NVR 本体側で変更されたカメラ名称は Vigilance VMS 側にも反映されます。

3-3 起動時レイアウト自動表示

Vigilance VMS 起動時に指定したレイアウトを自動的に表示するには以下の設定を行います。

自動的に表示したいレイアウトを作成し、ビュー登録する。



[設定]-[システム]-[環境設定]-[クライアント]の画面を表示し、起動時に表示するビューのプルダウンから、先ほど登録したレイアウトを選択し、「適用」ボタンをクリックします。



4 アラーム

4-1 アラームタブ

設定>アラーム管理画面でアラームアクションとして「ライブストリーミングの送信」を設定すると、アラームがトリガーされたときに、指定したカメラのライブ映像がアラームタブに表示されます。



アラームがトリガーされると、オレンジ色のベルのアイコンが表示されます。



アラーム通知も画面右上に表示されます。



オレンジ色のベルのアイコンをクリックすると、アラームタブが開きます。

統合管理ソフト（Vigilance VMS）ユーザーマニュアル

